

知立市「宇宙の学校®」H3ロケット成功！

開校11周年を迎えた知立市「宇宙の学校®」は、3月3日に今年度の最後のスクーリングと閉校式を行いました。私も1年目からスタッフとして参加させていただいていますが、今年度も多くの子どもたちと科学の不思議を体験し、子どもたちのキラキラと輝く瞳、ワクワクする姿に改めて感動しました。

宇宙の学校は、「KU-MA(子ども・宇宙・未来の会)」と「JAXA宇宙教育センター」の共催を得て行っているカリキュラムです。昨年の10周年の開校式には、知立出身でJAXAの新型H3ロケットの開発責任者(プロジェクトマネージャー)の岡田匡史さんから、知立の子どもたちのためにビデオメッセージをいただき、今年度の開校式でも放映しました。

岡田さんは、昨年11月に開催された知立小学校創立150周年記念式典に特別講師として招かれ、子どもたちの前で夢を語ってくれました。実は岡田さんとは、2014年の第1回ちこフェスに講師としてお招きしたご縁もあり、記念に色紙をいただきました。

昨年の打ち上げ失敗から1年後の、今年2月17日、種子島から見事にH3ロケットの打ち上げに成功した際は、歓喜に湧く岡田さんの姿を見て、共に心の底から喜びました。現在、市内各所に打ち上げ成功と岡田さんの功績をたたえるのぼりが掲げられています。



プロギング

プロギングをご存じでしょうか？プロギング(plogging)はジョギングしながらゴミを拾う新しいフィットネスです。スウェーデン語の「plocka upp(拾う)」と英語の「jogging(走る)」を合わせた造語で、今や世界100ヶ国以上で楽しめる一大ブームとなっています。

プロギングジャパンのスローガンは「ポジティブな力で足元から世界を変える」で、体を動かしながら、仲間と楽しく環境美化に努める活動です。

知立市で過去4回開催されましたが、私も今年2月の開催を含めて3回参加させていただき、参加者の皆さんと一緒に楽しく汗を流しました。令和6年度も開催を予定しているそうですので、ぜひ一緒にいかがでしょうか？

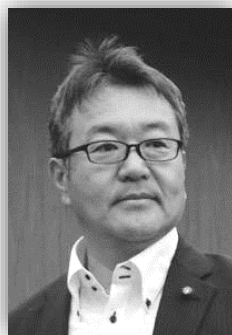


知立市マラソン大会

コロナ禍で、開催が見送られてきた知立市マラソン大会が、4年ぶりにフルスペックで開催されました。私も10年ぶりに3kmの部に出場しました。沿道からたくさんの応援、ありがとうございました。久しぶりに参加して気になったことや、一緒に参加した市民の方からいただいた声を一般質問でも取り上げました。



プロフィール



昭和41年7月25日生まれ(獅子座、B型)
 はなの木幼稚園、八ツ田小学校、知立中学校卒業
 刈谷高等学校、立命館大学卒業(社会学士課程修了)
 中、高、大、社会人時代ハンドボール部所属
 オフィス・ティスタジオ代表(平成5年〜)
 平成22年 知立市議会議員初当選
 平成26年 知立市議会議員2期目当選
 平成28年 新会派「立志会」設立、幹事長
 平成30年 知立市議会議員3期目当選
 第51代知立市議会議員
 令和元年 第52代知立市議会議員
 令和2年 議会運営委員長、立志会会長
 令和3年 市議会だより編集委員長(継続)
 議会DX推進PT座長(継続)
 知立市議会議員4期目当選
 新会派「篤心会」設立、会長

- ・八ツ田小学校 第30代PTA会長(知立市P連会長兼任)
- ・八ツ田小あんしんみまもり隊初代隊長(現事務局)
- ・ちりゅうこどもフェスティバル実行委員会発足(現監事)
- ・知立市商工会 理事、知立ライオンズクラブ 会員
- ・知立市スポーツ協会 監事、知立市テニス協会 会長、
- ・知立市国際交流協会 理事、愛知県交通安全協会安城支部 理事
- ・愛知県ドッジボール協会 事務局長、愛知県スポーツ協会競技委員
- ・日本ドッジボール協会東海ブロック 事務局長
- ・日本ドッジボール協会公認C級審判員、A級指導員
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(コーチ1)
- ・知立市「宇宙の学校」スタッフ、USYせせらぎの会 顧問
- ・日本防災士機構認定防災士(No.132526)
- ・熱中症対策アドバイザー(熱中症予防声かけプロジェクト)
- ・第18回マニフェスト大賞事務局長
- ・子どもの事故予防地方議員連盟会員(子ども安全管理士)
- ・デジタル推進委員(デジタル庁)

最後までお読みいただき、ありがとうございました。今後とも、ご支援のほど、よろしく申し上げます。

討議資料

田中たけし 後援会 だより



〒472-0012 知立市八ツ田町1-3-1 Tel: 83-9974 Fax: 050-3488-1346



令和6年度がスタートしました

田中たけし後援会だより(第58号)をご覧いただきありがとうございます。令和6年は、元日に起きた能登半島地震により大変な被害が発生し、今なお多くの皆様が避難生活など厳しい環境に置かれています。被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。前号(57号)は1月発行でしたが、入稿が年末であったため、対応できておらず申し訳ありませんでした。2011年の東日本大震災の時もそうでしたが、今回の災害から知立市が学ぶ事は多くあります。私も防災士として、今後より一層の防災意識の向上、災害対応の強化に努めてまいります。

さて、今年に入ってからうれしいニュースとして、JAXAが開発する新型ロケットH3の打ち上げ成功がありました。この開発責任者(プロジェクトマネージャー)を務められた岡田匡史さんは、知立市のご出身ということで、昨年の打ち上げの際も応援していましたが残念な結果となり、それ以降も遠く離れた地からエールを送っていました。岡田さんには、2014年の第1回ちこフェスや、知立市「宇宙の学校®」の開校などご縁をいただき、昨年末に知立におみえになった時には、一緒に会食させていただき、その際に記念に色紙を書きいただきました。今年2月17日に「RTF(Return to flight)」を掲げた今回の打ち上げ成功は、自分事のように皆と一緒に喜びました。実は、この他にも知立市の方が今回の打ち上げに係わっているというお話も伺い、「意外と知立市と宇宙って近いのかも」って感じました。

さて、本題ですが、3月定例会では令和6年度の予算が審議され可決されました。詳しくは内面に記載しますが、一般会計268億円余、特別会計、企業会計をあわせた総額は428億円余と、ともに過去最大規模となりました。新年度は第6次知立市総合計画及び第2期知立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度であり、それぞれの目標達成に向けた施策が反映されたものとなっています。一方で、知立駅付近連続立体交差事業を主軸とする知立駅周辺整備事業に16億7千万円余を投じ、今後その波及効果として求められる賑わいづくりも本格的に準備が求められます。この他にもカーボンゼロ施策やDX推進、物価高騰対策や災害対策など課題は山積しています。その中にも議会から政策提言を行った新しい施策が予算化されるなど、議会改革の効果も少しずつですが出てきています。



1年間の議会に係る費用(報酬や運営費など)は2億5千万円余となりますが、この費用が市民の皆様にとって意義のあるものとなるよう、引き続き議会活動を通じて「市民福祉の増進」や「市勢の興隆」のために尽力して参ります。昨年4月から始めている街頭活動も、3月末で140回を超えました。多くの市民からお声かけいただくようになり、とても励みになっています。引き続きご支援のほど、よろしくお願い致します。

知立市議会議員 田中 健 (57歳)

←田中たけしの最新情報はコチラ

田中健 知立

たなかとつながる

公式 LINE



3月定例会が開催されました

2月22日～3月18日の期間で3月定例会が開催され、以下の内容で質問に立ちました。



一般質問を行いました（通算46回目）

(1) 知立の福祉

・「知立の福祉」という冊子が公開されているが、福祉に関する施策が99ページにわたって掲載されており、担当する所管も福祉課だけでなく、国保医療課、子ども課、長寿介護課、総務課、税務課、建築課、まちづくり課などに多岐にわたっているが、障がい者に関する記載は6割を超えている。新年度当初予算においても、この福祉を含む民生費は110億円を超え、前年比約12億円の増額、中でも障がい者福祉を含む社会福祉費は約6億円増の約55億円となっている。

Q：今後さらに増え続けることが予想される、民生費、社会福祉費に関して、現状と課題は？

A：障害者福祉費は民生費・社会福祉費の中でも前年度と比較して数億円単位で増加している。令和6年度の予算案では、前年度と比べて3億円余増の21億円余が予算として計上されている。障害者総合支援法の一部改正により、障がい者の地域生活と就労を支援する施策が強化されており、これまで病院や施設に入院や入所していた人やひきこもりの人に、地域で生活する選択肢を提供する、就労支援事業所や共同生活援助事業所の設立や拡充が進んでおり、障害者福祉費の増加の主な要因となっている。今後も民間事業所を中心に就労支援事業や共同生活援助事業が拡充され、利用者数の増加が予想されるため、市の一般財源である義務的経費の増加により財政の硬直化が懸念される。

Q：障害者差別解消法と障害者総合支援法の改正により、今後市の施策にどのように反映されるか？

A：障がい者の地域生活支援拠点等の整備が努力義務となったが、市には核となる障害者の入所施設がない。障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して地域生活を送ることができるよう、高齢者施設等とも連携していく方法などを含め、地域生活支援拠点等の整備を進めていきたいと考えている。

※今回は医療的ケア児への支援を具体的に例を挙げた。令和3年に国会の議員立法で制定された「医療的ケア児支援法」に基づいて、知立市の学校教育現場の対応を含めて確認した。また、「あいち医療的ケア児支援センター」との連携について質した。

・障がい者の移動支援として「障害者福祉タクシー料金助成」について、福祉タクシーの利用において、近隣市と比べて大きな格差が見られるため、具体的に数字を掲げて質した。

Q：市内から近隣市の総合病院まで3,000円近くかかる移動を、福祉専用車両を利用してすべてのチケットを使った場合の試算では、普通車で6～7万円、大型車になると9～10万円の差があるが、介護タクシーが必要な障がい者の移動支援の料金設定が近隣市と比べて格差が大きくないか？

A：現在の助成内容では、福祉専用車両の利用時に十分ではないというお声があることも認識しているので、他の施策との優先関係や、他市町の動向等を考慮しながら検討していきたい。

Q：災害によるインフラ被害の中で、人工呼吸器などを使用する障がい者にとって、電源確保は大きな課題となっている。『在宅人工呼吸器使用患者非常用電源整備事業』は、在宅で人工呼吸器を使用する身体障害者(児)及び難病患者等の方が、災害時などによる停電時にも継続して人工呼吸器を使用できるよう、非常用電源の購入費用の一部を補助するもの。現在知立市では施策がないが今後の対応は？

A：非常時の医療器具等の電源については、災害等による長期停電時においても人工呼吸器等の器具が使用できるよう、令和6年度から、日常生活用具給付事業の給付対象となる種目に「発電機」、「人工呼吸器用バッテリー」、「外部バッテリー（ポータブル電源を含む）」を追加する予定。

※この他、能登半島地震でも課題となった、福祉避難所の受け入れ態勢や連携、障がい者の個別避難計画などについても質し、「新たに身体障害者福祉センターを市直営の福祉避難所として位置付けるよう調整中、知立市聴覚障害者協会と共に同センターにおいて福祉避難所開設訓練を行う予定」との回答があった。

・この他、(2)当面の諸課題として「知立市マラソン大会」について、より多くの市民が楽しめるような取り組みや、高齢者が参加しやすい企画について提案した。

・また最近近隣でも課題となった「低周波騒音問題」について取り上げ、市の対応を求めた。

Q：省エネ型給湯器などから発生する低周波の騒音について、市の認識と対応は？

A：工場などの特定施設の騒音と異なり、生活上発生する音のため、法律による規制はない。指導という方法で市が介入することはできないが、相談者からの話を聞きながら解決に向けて助言を行う。

	支給枚数 (年間最大)	普通タクシー	福祉タクシー (大型車)	支援総額 (介護普通車)	支援総額 (介護大型車)
知立市	36枚	初乗運賃(630円)の9割 1回6枚まで	追加36枚で 合計72枚	40,320円	40,320円
刈谷市	36枚	1枚700円 1回6枚まで	専用3,150円 (3,840円)	113,400円	138,240円
安城市	36枚	1枚630円 1回1枚まで	専用2,880円 (3,630円)	103,680円	130,680円

本会議質疑、委員会質疑、討論を行いました

本会議質疑（2月27日・28日）

■ 知立市空家等の適切な管理に関する条例の一部改正

・令和5年12月13日に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正」に伴い、その趣旨を反映させるため、市の条例を改正するもの(R6.4/1～)。

→改正の概要は「所有者の責任強化」「空家等の活用拡大」「空家等の管理の確保」「特定空家等の除却等」。

…市区町村長は、放置すれば特定空家等になるおそれがある空家等を管理不全空家等として、指導、勧告。勧告を受けた管理不全空家等の敷地は固定資産税の住宅用地特例を解除できる。

→令和4年度の実態調査：229軒の空家(平成28年度▲12軒)のうち管理不全状態7軒。この中に特定空家が1軒ありすでに除却されている。

…新たに設置された管理不全空家については、概念が規定されているが数値化されていないため課題がある。

■ 令和6年度知立市一般会計予算

・インクルーシブ遊具設置事業：7,570万円

→令和3年度の建設水道委員会で「インクルーシブな未来の公園づくりに向けて」をテーマに掲げ、1年間調査・研究を行った。「インクルーシブ公園」とは「誰もが一緒に遊べる公園」であり、知立駅周辺整備事業における公園整備や今後土地区画整理事業内で都市公園を造成する際には、誰もが一緒に遊べる公園づくりは重要。令和4年7月20日に「インクルーシブな未来の公園づくりに向けた政策提言書」を林市長に提出し、今期知立市で初めてのインクルーシブの概念を取り入れた公園が実現するもの。

…新地ドリームパーク15,443㎡のうち、約1,400㎡の面積で設置するもの。現遊具4基を除去し新たにインクルーシブ遊具を3基(複合遊具、ブランコなど)を設置する。幼児が安心して遊べるちびっこ広場に遊具を2基設置し、地面には転んでもケガしないゴムチップを敷く。障がい者用駐車場も4台分整備する。

・学校給食運営事業(物価高騰による賄材料費)：一般財源負担分4,243万円

→令和5年度は国の「新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金」における、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を充てて、価格高騰に伴う原材料費の値上げ分を1食15円+15円=30円を補填してきた。今期は国の交付金ではなく、1食あたり35円を値上げ分として4千万円余を、市の一般財源を投入する事業として実施する。議会では12月定例会において「学校給食費の保護者負担軽減を求める決議」を全会一致で可決した。これまでは国の財源を活用して行ってきた事業を、市単独で行うという意味では前進とも捉えられるが、近隣市が無償化を進める中で「より一層の保護者の負担軽減を図る施策の実現」とはならず。

…多子世帯の負担軽減なども検討したが、実現しなかった。

※他に「防災行政無線(同報無線)更新事業(デジタル化)」について、防災ラジオ(アナログ)の継続利用の可否を質した。→当面はアナログ電波も同時発信するため従来の防災ラジオも利用できる。



市民福祉委員会（12月14日）

■ 第2次知立市環境基本計画の変更について

■ 知立市児童発達支援センター条例の一部改正

■ 知立市介護保険条例の一部改正 →閉会日に討論を実施

■ 知立市国民健康保険税条例の一部改正 →閉会日に討論を実施

→介護保険料、国民健康保険税について大幅値上げとなっている。介護保険料については、最近の2期は据え置きし、県内で3番目、全国でも16番目の安さだったが、急激な利用料の増加と基金の枯渇もあり、値上げとなった。国民健康保険税については、こちらも基金が枯渇してなお、禁じ手とされている一般財源からの繰り入れをしても、15%の値上げが必要となった。その原因追及と今後の対策について質した。

議会改革度ランキング2023

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年発表している、全国の地方議会を対象にした議会改革度調査。情報共有、住民参画、機能強化の視点から、各議会の取り組みを数値化してランキングしている(回答1,562/調査対象1,784)。

知立市議会は、総合順位で昨年の34位から29位に上昇し、県内では2年連続で第1位となった。

項目別では、情報共有132位(↓)、住民参画15位(→)、機能強化45位(↑)となっている。本会議のライブ配信や、委員会政策提言、高校生議会からの政策提言など、昨年も積極的な活動を推進した。